

復興施策の総括に関する質問・意見一覧表
(第3回委員会において追加質問等があったもの)

資料16 P6 No11

No.	内 容	備 考
11	資料 11 復興施策シート：P28 No.06 二級河川新井田川の原状復旧 質問 <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災における大津波により、新井田川河口付近の川底に土砂が堆積したと思います。 ・平成 25 年 7 月河川改良 (L=65m) 完了とありますが、これは堆積土砂の撤去完了と言う意味でしょうか。 	第3回委員会の質疑内容
	【回答欄】(港湾河川課) <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年 7 月河川改良 (L=65m) 完了は、平成 23 年の台風 15 号により損壊した護岸等の復旧工事が完了したものであり、津波堆積土砂の撤去を内容としたものではありません。 ・新井田川河口部の津波堆積土砂については、青森県が別途、浚渫工事を実施しており、平成 24 年 3 月に撤去完了しております。 	
	第3回委員会における要望 <ul style="list-style-type: none"> ・堆積土砂を撤去した箇所が分かる資料を提示してほしい。 	第4回委員会追加回答
	【回答欄】(港湾河川課) <ul style="list-style-type: none"> ・堆積土砂を撤去した箇所は、別紙1のとおりです。 	

資料16 P6 No13

No.	内 容	備 考
13	資料 10 復興施策の総括：P7(1)市街地の整備 質問 <ul style="list-style-type: none"> ・中心街は一方通行や道幅の狭い箇所が多くあるため、車両及び歩行者の安全確保が必要と感じています。電線地中化の計画と進捗状況を教えてください。 	第3回委員会の質疑内容
	【回答欄】(道路建設課) ※別紙参照 <ul style="list-style-type: none"> ・中心街の電線地中化の計画と進捗状況につきましては別紙資料をご覧ください、完了済区間(緑色表記)といたしましては、①国道 340 号、②県道妙売市線、③市道上組町湊線、④市道鷹匠小路線の 4 区間でございます。 ・現在事業中の区間(赤色表記)といたしましては、①都市計画道路 3・5・1 号、②主要地方道八戸大野線、③国道 340 号、④市道停車場上線、⑤市道番町線の 5 区間でございます。③につきましては測量設計作業中ですが、①と④は工事中、②と⑤につきましては令和 2 年度工事着手予定となっております。 ・また、計画区間(青色表記)といたしまして、①市道中央停車場線、②市道岩泉町線の 2 区間となっております。 	
	第3回委員会における要望 <ul style="list-style-type: none"> ・No13 の参考資料「中心街の電線地中化計画箇所と進捗状況参考図」に各区間(完了済・実施中・計画)の事業期間を記載してほしい。 	第4回委員会追加回答
	【回答欄】(道路建設課) <ul style="list-style-type: none"> ・各区間(完了済・実施中・計画)の事業期間を追記しました。(別紙2のとおり) 	

資料16 P9 No19

No.	内 容	備 考
19	<p>資料 12 復興施策の総括：P6(1)防災体制の強化</p> <p>資料 13 復興施策シート：P7 No.09 市避難所運営体制の再検討</p> <p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所に指定されている地区公民館は、駐車場が狭く、台風や津波などの災害時には車で避難する人で混乱することが想定されます。対策を検討する必要はないでしょうか。 <p>【回答欄】（防災危機管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難時には、自動車での避難は途中で交通渋滞に巻き込まれたり、道路の破損や穴壊などで通行できないおそれがあることから、やむを得ない場合を除いては、原則として徒歩で避難していただくようお願いしているところです。 ・一方で、風水害時において、時間的に余裕がある場合には、自動車での避難も考えられることから、ホテルなどの民間施設の駐車場や公園の開放など、自動車避難に適した避難場所の確保に向けて検討を進めて参ります。 <p>第3回委員会における意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館は避難所として適切なのでしょうか。 ・風水害（台風）でも小・中学校に避難できるようにしてはどうでしょうか。 	第3回委員会の質疑内容
19	<p>【回答欄】（防災危機管理課）</p> <p>○台風をはじめとする風水害時における避難所開設の考え方について （対象人口や避難所の快適性を踏まえ開設する施設を選定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大雨を起因とする土砂災害や洪水のおそれがある場合、市では、避難が必要な地区に対して避難情報を発令し、それと同時に避難所を開設しております。 ・避難所開設に当たっては、安全に避難できるよう、気象情報や河川の水位等の情報を気象台や国・県に確認しながら、災害が起こる前の日中、明るい時間帯に開設するようにしております。 ・この避難所につきましては、学校や公民館などの公共施設を避難所としておりますが、公民館で対応可能な場合は公民館を、公民館で収容能力が不足する場合は学校をというように、基本的には公民館を優先的に開設することとしております。 ・その理由といたしましては、公民館は地域コミュニティの核となる施設であり、人が集まることを前提とし、和室や調理室があるなど人が生活するのに適した施設だからです。 ・しかしながら、現在、新型コロナウイルス感染症が収束しない中においては、避難所での密を避けるため、より広い学校を優先的に開設することとしております。 <p>（避難所を開設する地区しない地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、避難所は自然災害の原因に応じて開設する地区と開設しない地区があります。 ・例えば、土砂災害の場合ですと、土砂災害の危険箇所は市内のほぼ全域に点在しますが、白山台や小中野、江陽などの地区にはありませんので、これらの地区には避難情報を発令せず避難所も開設しないということになります。 ・洪水であれば、市内の主要な5河川である馬淵川、新井田川、浅水川、五戸川、奥入瀬川の主に川沿いが避難対象区域になりますが、どの川の水位が上がるかによって避難対象区域や避難所も変わってきます。 	第4回委員会追加回答

○車避難について

- ・基本的に避難所となる学校や公民館への車での避難は自粛をお願いしております。
- ・これは、大雨時の車両での避難は危険であること、車での避難を一律に認めてしまうと避難所となる学校や公民館の敷地が車で一杯になり、徒歩によって避難することが難しい高齢者や障がい者など、自動車による避難に頼らざる得ない方々が避難する際の支障となること、また、いざというときに緊急車両や物資輸送車両が進入できなくなるおそれがあるためです。
- ・しかしながら、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、一般の方でも避難所に避難せず車中避難を行う方や、浸水が想定されている地区にお住まいで自家用車が水没する危険性が高い方など、車避難へのニーズが高まっていることから、ホテルなどの民間施設の駐車場や公園の開放など、自動車避難に適した広い避難場所の確保に向けて検討を進めているところです。
- ・現在、民間事業者数社と協議を進めているところであり、時期につきましては相手がありますことから明確にお答えすることはできませんが、年度内を目指して進めております。

No.	内 容	備 考
	<p>資料 13 復興施策シート : P4 No.04 安全・安心まちづくり推進協議会の充実 質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心まちづくり推進協議会における意見交換・情報交換で出された意見はどのような内容が多かったでしょうか。また、具現化したものがありましたら、わかる範囲でお知らせください。 <p>【回答欄】（くらし交通安全課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換・情報交換で出された意見や具現化した主なものは、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ○市内の防災無線の設置状況の確認及び地区への新規設置要望 <ul style="list-style-type: none"> ⇒防災無線の増設を予定していないことから、ほっとスルメールや緊急速報メール等の情報伝達手段の活用を推進。 ○市民一人ひとりが交通安全に対し高い意識を持つことが必要である。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒交通安全教室の実施 ○安全・安心まちづくりと地域コミュニティの推進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒「地域安全マップ」事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 子どもの危険回避とあわせて、地域で子どもを守る意識の醸成が図られることにより地域におけるコミュニティ振興の一翼を担う。 <p>第3回委員会における質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望も含めて関係団体にアンケートをとっていると思いますので、困っていることや、どのような問題・意見があったのか教えていただきたい。 	<p>第3回委員会の質疑内容</p>
28	<p>【回答欄】（くらし交通安全課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の回答について、不明瞭でありましたので、改めて回答いたします。 ・安全・安心まちづくり推進協議会は、原則、「交通・防犯関係」「防災関係」「子ども関係」の3分野の中から、毎年2分野について順番に担当課がテーマを選定し、事例発表等により情報提供や問題提起を行っているもので、様々な団体の方々が一堂に会し、共有した情報や意見等を各地域へ持ち帰ることで、活動の促進や地域の課題解決、また、横の連携が図られることを目的としております。（参加者数は毎年、200人前後で推移しています。） ・これまでに取り上げた主な「テーマ」と意見、要望は次のとおりとなっております。 <p>【安全・安心なまちづくり全体】 （意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故防止や防犯に対する市民の意識向上を図る必要がある。（意見の大半） ・地域においても、防犯、防災、交通安全等の団体が協力し活動することで学校との連携も図りやすくなる。（各々だと学校の負担が大きい。） ・地域ボランティア団体の活性化や結束を図るためには地域コミュニティとの連携も重要である。 <p>【交通・防犯関係】</p> <p>「地域安全マップについて」 （実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全ての小学校においてマップを作製。学校、PTAと地域の方々が参加することで子どもの危険回避と併せて、地域で子どもを守る意識の醸成が図られることにより地域におけるコミュニティ振興の一翼を担っている。 <p>「特殊詐欺の現状について」 「少年非行防止JAMPチームの活動状況等について」</p>	<p>第4回委員会追加回答</p>

「青森県内における飲酒運転に関する意識の地域差について」
「交通事故で最愛なる息子を失って ～遺族として想うこと～」など

【防災関係】
「災害現場から学んだこと ～阪神淡路大震災から20年～」
「八戸市の防災対策事業について」
（要望）
・地域への防災無線の設置
→津波警報の伝達が主な設置目的であり沿岸中心に設置。ほっとスルメール
や緊急速報メール等の情報伝達手段の活用を推進。
「災害ボランティアネットワーク八戸の活動状況等について」
「八戸市安全・安心情報発信事業について」
「警戒レベルの導入について」 など

【子ども関係】
「子どもたちの笑顔を守る安全教育について」
「トラック協会による小学生対象交通安全教室について」
（意見）
・教室における児童の取り組み姿勢についての指導も大事である。
「学校生活ボランティア活動について」
「子どもを守るインターネットセーフティ事業の取組とインターネットトラブルの
現状について」 など

資料16 P14 No31

No.	内 容	備 考
31	<p>資料 13 復興施策シート：P23 No.28 小・中学校における防災教育の推進意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分のいのちは自分で守る」の意識啓発が行われていますが、今後は一步発展して「地域と学校が連携した防災活動」に取り組んで頂けないでしょうか。 ・宮城県富谷市成田地区での取組に刺激を受けました。学校と町内会の連携により、中学生が無難に災害時の個々の役割を果たしています。 <p>【回答欄】（教育指導課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全小・中学校では、地域密着型教育推進事業を推進しており、家庭や地域社会・関係機関等と連携・協働した安全に関する組織活動の充実に努めています。学校によっては、避難訓練に地域住民が参加したり、地域の自主防災会が主催する地域の防災訓練に学校単位で参加したりして、地域全体の防災意識の高揚を図っています。 ・さらに、防災の担い手を育成する取組として、八戸地域少年消防クラブ育成協議会が主催する少年消防クラブの活動があり、校内に少年消防クラブを結成し、防災活動に取り組んでいる学校もあります。 ・市教育委員会では、災害発生時に児童生徒が周りの人々とともに適切な避難行動がとれるよう、各学校と地域が連携した防災に関する取組を引き続き支援して参ります。 <p>第3回委員会における要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記回答について、実施校数などが分かるものについては数字で示してほしい。 	第3回委員会の質疑内容
	<p>【回答】（教育指導課）</p> <p>今年度、市内全小学校 42 校のうち 1 校、市内全中学校 24 校のうち 1 校において、少年消防クラブを結成しています。また、他に町内会において 9 団体で同クラブを結成しています。市教育委員会では、少年消防クラブを結成している 2 校の取組を市内小・中学校に紹介するとともに、八戸地域少年消防クラブ育成協議会と情報共有を図ること等により、各学校における防災教育のさらなる充実に努めて参ります。</p>	第4回委員会追加回答

資料16 P20 No40

No.	内 容	備 考
40	資料 11 復興施策シート：P41 No.20 体育施設の復旧	
	資料 13 復興施策シート：P54 No.13 八戸市体育館の改築の検討	
	<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年 2 月に「長根公園再編プラン報告書」が示され、八戸市体育館は複合施設として整備を検討することとなっておりましたが、その後、平成 28 年の耐震診断により震度 6 強で倒壊するという結果が出ていたと認識しております。現状の長根公園再編プランの内容と、八戸市体育館の整備に向けて具体策がありましたらお知らせください。 	
	<p>【回答欄】（スポーツ振興課・公園緑地課）</p> <ul style="list-style-type: none"> 長根公園再編プランでは、短期、中期、長期整備の 3 段階での整備を計画しております。 これまでは、短期整備として、屋内スケート場及びその周辺を中心に整備して参りました。 八戸市体育館につきましては、八戸市体育施設整備に関する基本方針において、基本構想の策定に着手することとしており、整備手法等他都市の整備事例について調査研究して参ります。 	第 3 回委員会の質疑内容
	<p>第 3 回委員会における質問</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記回答について、長根公園再編プランでは、短期、中期、長期整備の 3 段階での整備を計画しているということですが、今の時点は何期なのか教えてほしい。 	
	<p>【回答欄】（公園緑地課）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の整備期は「短期」（屋内スケート場及び周辺の整備段階）となります。 また、短期、中期、長期の整備計画の参考資料として、「長根公園再編イメージ図」を添付します。（別紙 3 のとおり） 	第 4 回委員会追加回答